

平成 29 年度 北秋田市総合戦略検証会議による意見・提言

<北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略>

基本目標 1 産業振興による仕事づくり

- 全国には茶豆やただちや豆、ずんだなど枝豆のブランドが各地にあるが、秋田の枝豆は量だけで日本一を目指している感がある。ネーミングをするなどトータル的な工夫が必要と思う。
- 今の若い人は貧血や低血圧という人が多く、小豆がすごく良い。いい土といい酸素があればできる作物なので、枝豆だけではなく小豆についてもぜひ検討してほしい。
- 枝豆の加工品を食べたことがあるが全く買おうと思わない。下手に今風に加工するより純粋に健康食品として目指していけばよい。加工品でも健康を主にしたものにすれば首都圏でもはやると思う。
- 伊勢堂岱遺跡の展示品について、もう少し工夫した形にすればいい。どういう部分が世界遺産なのかをアピールしてくれれば良い
- 世界遺産登録を目指している「北海道・北東北の縄文遺跡群」同士の関連について、縄文館ではどのように展示しているか。
- クマの発生で見学が中止になっているが、クマ撃退用のスプレーがとても威力があるようなので、何かそのような工夫をしてもらえればと思う。
- 伊勢堂岱遺跡のファンクラブを作って、興味のある人にネットなどでいろんな情報を提供し、この遺跡を育ててもらえるのはどうか。見学できないときでもネットを通じていろいろ参加できる形ができればよい。
- 今般遺跡のロゴマークを作ってくれた方などに提案をもらうなど、みんなで作り上げていくのはどうか。
- ファンクラブに入った人に実際に来てもらい知恵をもらうなど情報交換をして巻き込んでいかないと発展しないと思う。
- 高校生を巻き込んでほしい、絶対縄文に興味のある人はいると思うし、ふるさとに関わった思い出があれば将来のUターンにもつながるはず。JRCなどのボランティアサークルなどに声かけをして、一緒に作り上げてほしい。
- 伊勢堂岱遺跡に向かう途中の坂道が急なので手すりなどを付けていただければと思う。
- 秋田犬ツーリズムによるPR動画は大きな反響があった。タイやマレーシア、中国本土などの他の国にも広げられたら良い。
- 萱草橋が通行止めとなっているが、内陸線の撮影スポットとなっているので、人が入れるようにしてほしい。
- 観光案内人数が減ってきていると思われるが、育成事業は行われているのか。
- 買い物が不便という理由で別の場所に住みたいと考えている市民が多いことから「小売業事業所数」という目標値の設定は少し低いと思うので見直しが必要。

基本目標 2 移住・定住対策

- 有害駆除に対する公務員ハンターという枠での採用をしたらどうか。

- くまぐま園の園長は、公務員でありマタギであり獣医であるが、そろそろ後継者を育てる必要がある。市の仕事も覚えてもらいながら、マタギの勉強もしてもらおうなど、計画的に育てていかないとこれから先厳しくなる。全国的にも少ないので話題性にもなり移住にもつながると思う。

基本目標3 少子化対策

- 受動喫煙防止対策について、人口減少社会の中でタバコによる影響がどんどん増えている。チラシの配布等の市の対策では手ぬるい感じがするのでもう一歩踏み込んでほしい。
- 少子化対策は職場で働きかけると効果がある。団塊の世代の方々を活用した働き手を応援する仕組みづくりを醸成することによって、いろんな職場が動き出し、安心して産み育てやすい北秋田市になればよい。
- 企業に対する子育て制度の支援や意識の醸成、さらには出産後の母子の孤立防止や産前産後のケアポート体制が足りないを考える。
- 高校生を巻き込んでほしい、絶対縄文に興味のある人はいると思うし、ふるさとに関わった思い出があれば将来のUターンにもつながるはず。JRCなどのボランティアサークルなどに声かけをして、一緒に作り上げていってほしい。(再掲)

基本目標4 新たな地域社会の形成

- 防災情報メール登録者数について、もっとやり方次第で登録者数が増えると思うので検討してほしい
- 防災行政無線は個人宅にはあるが企業には付いていない。お金を払っても付けたいところもあるので、空き家などから受信機を回すなどしてほしい。

<その他>

- 市には目玉が無い気がする。人口が減り税収が減る中で目玉となる起爆剤が無い。これに賭けているというようなものがほしい。
- 市民歌を時間ごとに流れる有線(防災無線、チャイム)で流せないか。また、市役所への電話の保留音をオルゴールなどの聴きやすいものにしてほしい。
- イベントへの補助金について、補助金を出してどうだったか、地域にどのくらいの還元があったのかなど検証をしてほしい。
- (夢列車プロジェクト実行委員会の事業である)内陸線に1億5千万円で車両を購入する試みはとても良いと思っており、今話題の豪華列車のようなものを期待していたが、実際は目標に程遠く車両の修理に使われるとのこと。本当にやる気があるのであれば、時間が掛かってもやるというような強い気持ちがあっただろう。